

令和6年度普及指導活動外部評価の実施について

1 目的

効果的かつ的確な普及指導活動を実施するため、先進的な農業者、農業関係団体、学識経験者等の外部有識者による評価委員から意見を聴取する外部評価を実施し、その結果を普及指導活動に反映する。

2 日時及び実施場所

- (1) 日時：令和6年9月30日（月）13：30～17：00
- (2) 場所：農業技術センター第1・2会議室及び第3会議室
（平塚市上吉沢1617 電話：0463-58-0333）

3 評価対象の普及部所及び課題

- (1) 農業技術センター横浜川崎地区事務所
（課題：横浜市内産植木の安定生産に向けた取組み支援）
- (2) 農業技術センター足柄地区事務所
（課題：カンキツ産地の活性化に向けたレモンの生産振興支援）

4 評価方法と評価の流れ

(1) 実施前

農業技術センター所長は、令和6年8月30日（金）までに「5 評価に使用する資料」のうち(1)～(4)を評価委員に送付する。

(2) 実施当日

ア 評価対象の普及部所は、評価委員に課題を説明し、質疑応答を行う。

イ 評価委員は、「神奈川県協同農業普及事業活動要領」に定める外部評価表（様式3）により、評価する。

ウ 総括を行う評価委員は、課題ごとの評価検討会において各評価委員の外部評価表の内容を検討し、総合評価を決定し、講評する。

(3) 実施後

ア 企画経営部長は、外部評価結果及び反映状況等について（様式4）の評価結果を速やかに取りまとめ、評価対象の普及部所長は（様式4）の評価結果に対する改善策と反映状況等を作成し、令和6年11月29日（金）までに農業技術センター所長へ提出する。

イ 農業技術センター所長は、外部評価についてホームページに掲載する。

(4) 実施当日のスケジュール

内 容	時間配分
開会、挨拶、評価委員及び出席者紹介	10分
評価方法の説明、実施方針等の説明	10分
対象課題(1)	
課題の説明	15分
質疑応答	25分
評価まとめ(各評価委員が様式3に記載)	10分
休憩	10分
対象課題(2)	
課題の説明	15分
質疑応答	25分
評価まとめ(各評価委員が様式3に記載)	10分
休憩	10分
評価検討会	60分
講評(総括を行う評価委員による)	10分
閉会	

5 評価委員

	分 野	氏 名	備 考
1	先進的な農業者	生駒 順	生駒植木株式会社 代表取締役 (横浜農協植木部長)
2	若手農業者	石井 宏征	若手植木生産者
3	先進的な農業者	常盤 幸宏	湯河原町農業委員
4	女性農業者	磯崎 加代子	山北町農業委員
5	学識経験者	藤代 岳雄	全国農業改良普及職員協議会事務局長 評価の総括を行う
6	農業関係団体	江原 伸弘	神奈川県農業協同組合中央会 農業くらし対策部次長
7	マスコミ	原尻 大志	株式会社日本農業新聞東日本統括支所 編集担当次長

6 評価に使用する資料

- (1) 神奈川県協同農業普及事業の実施に関する方針(令和4年3月改定)
 - (2) 神奈川県協同農業普及事業活動要領(令和5年8月1日改定)
 - (3) 対象課題の普及指導計画及び実績
 - (4) 対象課題概要(評価対象課題概要様式を使用、提出締切:7月31日(水))
 - (5) 対象課題の説明資料(15分程度のパワーポイント、提出締切:8月30日(金))
- なお、(1)~(3)は企画経営部が準備し、(4)及び(5)は評価対象の普及部所が作成し、提出締切までに企画経営部長へ提出する。

7 出席者

- (1) 評価委員
- (2) 農業振興課
- (3) 農業技術センター所長
- (4) 評価対象の普及部所の部所長、次課長、対象課題担当者
- (5) 農業技術センター企画経営部長、普及企画担当者
- (6) 評価対象以外の普及部所（各部所1～2名）